

NYマーケットレポート(2013年9月12日)

昨晚のNY外国為替市場は、序盤に発表された米失業保険申請件数が、約7年5ヵ月ぶりの低い水準に改善したことを受けて、ドル円・クロス円は堅調な動きとなりました。しかし、システムトラブルで申請が処理されなかった地区があったことが明らかとなり、一転して反落する動きとなりました。また、株価が軟調な動きとなったことも加わり、ドル円・クロス円も軟調な展開が続きました。その後、シリア大統領が、化学兵器を引き渡す用意があると表明したことや、国連に化学兵器禁止条約の加盟申請書類を提出したとの報道を受けて、シリア情勢の緊張が弱まり、投資家のリスク回避の動きが後退したことから、安全資産とされる円を売る動きが優勢となりました。

2013/9/12 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	99.58	100.00	99.20
EUR/JPY	132.46	133.10	132.06
GBP/JPY	157.32	158.24	156.96
AUD/JPY	92.09	93.26	91.77
EUR/USD	1.3304	1.3325	1.3298

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	99.64	99.27
EUR/JPY	132.53	131.91
GBP/JPY	157.39	156.99
AUD/JPY	92.14	91.72
EUR/USD	1.3311	1.3283

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14387.27	-37.80
ハンセン指数	22953.72	+16.58
上海総合	2255.60	+14.34
韓国総合指数	2004.06	+0.21
豪ASX200	5242.54	+8.15
インドSENSEX指数	19781.88	-215.57
シンガポールST指数	3121.08	+12.89

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6588.98	+0.55
仏CAC40	4106.63	-12.48
独DAX	8494.00	-1.73
ST欧州600	310.74	-0.14
西IBEX35指数	8924.20	+49.00
伊FTSE MIB指数	17522.71	-39.84
南ア 全株指数	43752.30	+332.98

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	99.43	99.72	99.02
EUR/JPY	132.24	132.29	131.72
GBP/JPY	157.18	157.42	156.71
AUD/JPY	92.19	92.23	91.73
NZD/JPY	80.99	81.02	80.67
EUR/USD	1.3301	1.3325	1.3255
AUD/USD	0.9273	0.9280	0.9227

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	15300.64	-25.96
S&P500	1683.42	-5.71
NASDAQ	3715.97	-9.04
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	12701.05	-124.37
ブラジルボルサ指数	40785.68	-854.85
ロシアモスクワ指数	53307.09	-263.37

9/13 経済指標スケジュール

10:00	【NZ】9月ANZ消費者信頼感指数
11:00	【シンガポール】2Q失業率
13:30	【日】7月稼働率指数
13:30	【日】7月鉱工業生産
14:00	【シンガポール】7月小売売上高
16:15	【スイス】8月生産者輸入価格
16:30	【スウェーデン】2Q GDP
18:00	【欧】2Q雇用者数
21:00	【ポーランド】8月マネーサプライ M3
21:00	【ポーランド】8月消費者物価指数
21:30	【米】8月小売売上高
21:30	【米】8月生産者物価指数
21:30	【カナダ】2Q設備稼働率
22:55	【米】9月ミシガン大学消費者信頼感指数
23:00	【米】7月企業在庫

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1330.60	-33.20
NY 原油	108.60	+1.04
CME コーン	479.00	-0.75
CBOT 大豆	1442.00	+36.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.44%	0.44%
3年債	0.88%	0.88%
5年債	1.71%	1.71%
7年債	2.33%	2.33%
10年債	2.91%	2.91%
30年債	3.85%	3.85%

9/13 主要会議・講演・その他予定

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

ここまでのドル/円の動き



(出所: ネットダニア)

- ① 海外市場で米長期金利が低下したことで、日米の金利差の縮小が意識され、ドル売り・円買いが優勢となった。
- ② 午後に入り値を戻す動きも見られたものの、日経平均株価が下げ幅を拡大したことから、ドル円・クロス円も軟調な動きとなった。
- ③ 米系の買いが出て上昇したが、引き続き上値の重い展開が続いた。

21:00

ドル/円 99.39 ユーロ/円 132.14 ユーロ/ドル 1.3295

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

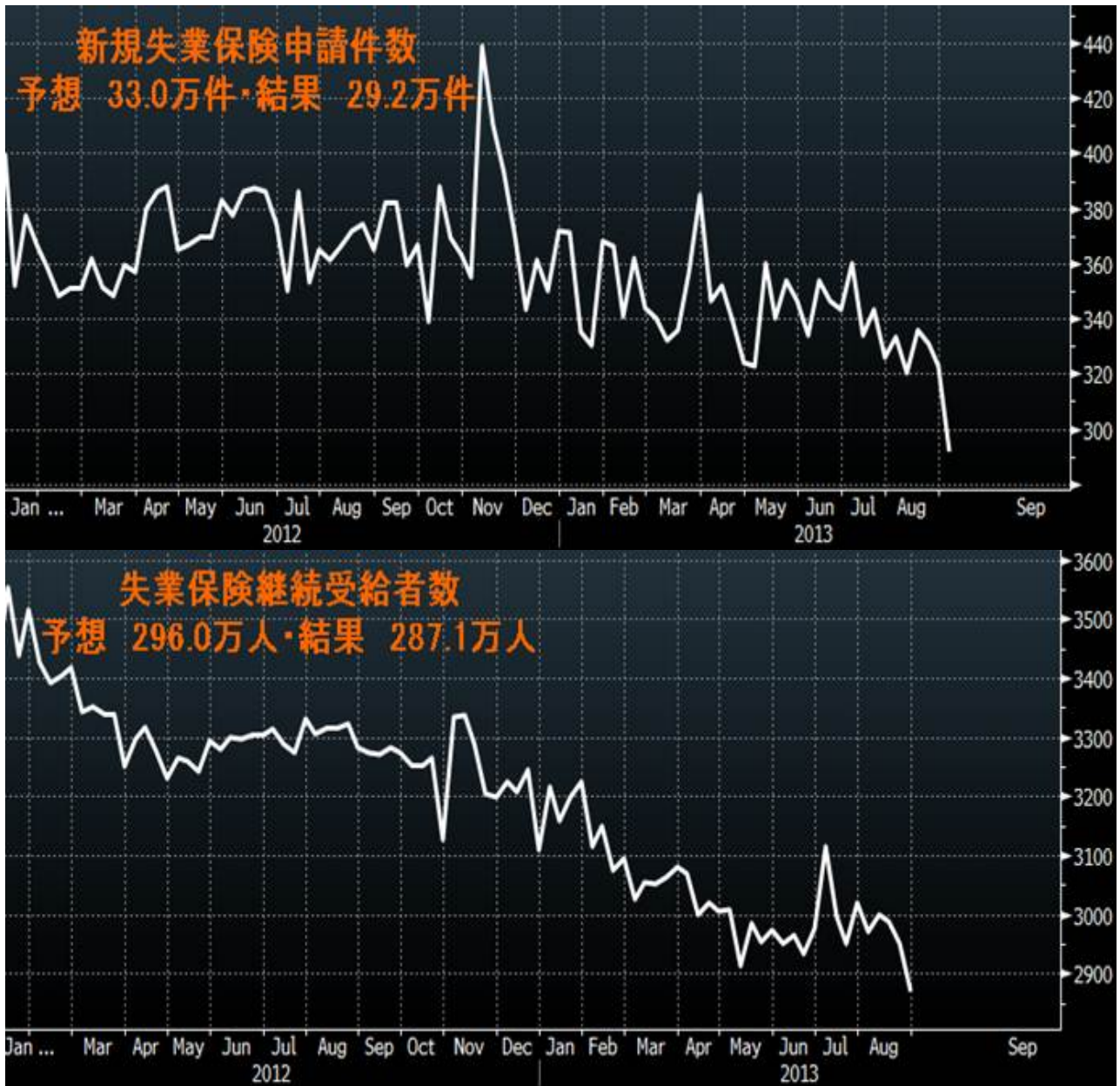
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6595.99	+7.56	ダウ INDEX FUTURE	15332	+2
仏 CAC40	4116.00	-3.11	S&P500 FUTURE	1688.30	-0.50
独 DAX	8502.85	+7.12	NASDAQ FUTURE	3181.50	+3.00

(出所: ブルームバーグ)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

- ・ 新規失業保険申請件数 29.2 万件（予想 33.0 万件・前回 32.3 万件）
- ・ 失業保険継続受給者数 287.1 万人（予想 296.0 万人・前回 294.4 万人）前回発表の 295.1 万人から 294.4 万人に修正



（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4 週移動平均	受給者数	受給者比率
13/09/13	292,000	-31,000	321,250	*****	*****
13/08/31	323,000	-10,000	328,750	2,871,000	2.2%
13/08/24	333,000	-4,000	331,750	2,951,000	2.3%
13/08/17	337,000	+15,000	330,500	2,994,000	2.3%
13/08/10	322,000	-13,000	332,500	3,003,000	2.3%
13/08/03	335,000	+7,000	336,000	2,969,000	2.3%
13/07/27	328,000	-17,000	341,750	3,023,000	2.3%
13/07/20	345,000	+9,000	345,750	2,951,000	2.3%
13/07/13	336,000	-22,000	346,500	3,003,000	2.3%
13/07/06	358,000	+14,000	351,250	3,116,000	2.4%

受給者数は集計が1週間遅れる

21 : 30

《 経済指標の結果 》

・ 8 月米輸入物価指数（前月比） 0.0%（予想 0.5%・前回 0.1%）前回発表の 0.2% から 0.1%に修正

・ 8 月米輸入物価指数（前年比） -0.4%（予想 0.4%・前回 0.9%）前回発表の 1.0% から 0.9%に修正



（出所：ブルームバーグ）



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米輸出入物価》

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
全輸入	0.0	0.1	-0.4	-0.6	-0.7	-0.1	0.9
石油	0.8	2.7	-0.7	-1.8	-3.0	0.0	3.9
非石油	-0.2	-0.4	-0.3	-0.3	0.0	-0.1	0.0
食品・飲料等	0.3	0.6	-1.0	0.4	-0.3	1.6	1.2
資本財	-0.1	0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1	-0.1
自動車・部品	-0.1	-0.4	-0.2	-0.3	-0.3	-0.1	0.0
消費財	-0.1	-0.2	-0.1	-0.3	0.3	-0.2	0.1

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
全輸出	-0.5	-0.1	-0.1	-0.5	-0.6	-0.5	0.7
農業	-4.3	-0.3	0.8	1.0	-2.1	-1.8	2.0
非農業	-0.1	-0.2	-0.2	-0.7	-0.5	-0.3	0.6
食品・飲料等	-4.3	-0.4	0.8	0.8	-2.3	-1.9	1.8
資本財	-0.1	0.1	0.0	-0.1	-0.2	0.0	0.3
自動車・部品	-0.1	0.1	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.3
消費財	-0.6	0.0	0.1	-0.2	-0.3	-0.2	-0.3

21 : 30

《 経済指標の結果 》

- ・ 7 月カナダ新築住宅価格指数（前月比） 0.2%（予想 0.1%・前回 0.2%）
- ・ 7 月カナダ新築住宅価格指数（前年比） 1.9%（予想 1.9%・前回 1.8%）

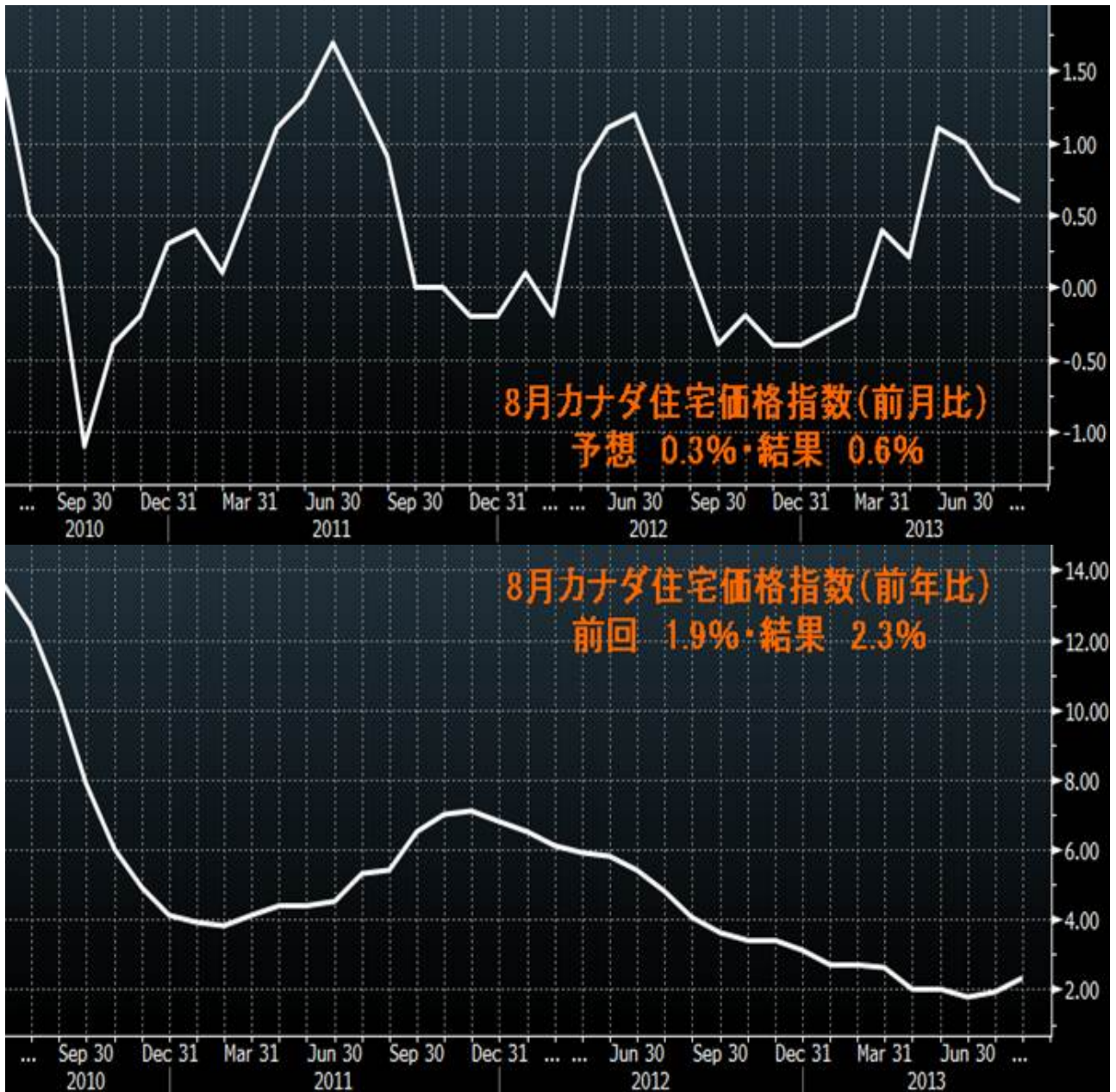


(出所:ブルームバーグ)

22 : 00

《 経済指標の結果 》

- ・ 8 月カナダ住宅価格指数（前月比） 0.6%（予想 0.3%・前回 0.7%）
- ・ 8 月カナダ住宅価格指数（前年比） 2.3%（前回 1.9%）



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、序盤に発表された米失業保険申請件数が市場予想よりも減少したものの、ドルの上昇はやや限定的だった。その後は、長期金利の低下を背景に日米の金利差縮小が意識され、ドルを売り・円買いの動きが優勢となっている。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15333.96	+7.36
ナスダック	3723.88	-1.13

(出所:ブルームバーグ)

《 海外の話題 》

インドネシア中銀は、主要政策金利を年 7.0% から 7.25% に引き上げることを決定した。利上げは 4 ヶ月連続となり、通貨ルピアの下落に歯止めをかけるためである。

インドネシアでは経常赤字の拡大や、米量的緩和縮小への警戒感から投資家が資金を引き揚げる動きが広がり、経済は減速傾向にある。相次ぐ利上げにもかかわらずルピア安が続いており、インフレ懸念も高まっている。

中銀は、声明で「インフレを抑制し、ルピアの為替レートを安定させるという中銀の方針を実現するための措置だ」と強調した。中銀は、2013 年のインフレ率が目標値を大きく上回るとみている。

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米失業保険申請件数が市場予想より少なかったことなどを背景に、来週の米 FOMC を控え量的緩和の早期縮小を警戒する売りが出る一方、米景気回復への期待感による買いが出るなど、売り買いが交錯するもみ合いの展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比-3.1 万件の 29.2 万件となり、2006 年 4 月 1 日までの週以来、約 7 年 5 ヶ月ぶりの低い水準となった。システムトラブルで申請が処理されなかった州がいくつかあったことが大幅低下の一因となった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-7500 人件の 32 万 1250 件で、2007 年 10 月 13 日以来、約 5 年 11 ヶ月ぶりの低水準となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険受給者総数は、前週比-7.3 万人の 287.1 万人と、2008 年 3 月 1 日までの週以来、約 5 年半ぶりの低さとなった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-2 万 4750 人の 295.3 万人となり、2008 年 4 月 12 日までの週以来、約 5 年 5 ヶ月ぶりの少なさとなった。受給者比率は、前週比 0.1 ポイント低下の 2.2% となった。

(2) 8月の米輸入物価指数は、市場予想の+0.4%を下回り、前月から横ばいとなった。石油や食料価格が上昇した一方で、天然ガスなど石油製品以外の品目が下落したことが影響した。また、前年同月比は-0.4%となった。

①自動車は、前年同月比-1.0%と、1990年5月以来の下落幅となった一方、石油は前月比で+0.8%、前年同月比では+1.9%となった。石油以外の品目は、前月比-0.2%、前年同月比は-0.9%した。

②品目別では、食料品が+0.3%、原油が+0.3%、天然ガスは-9.0%。

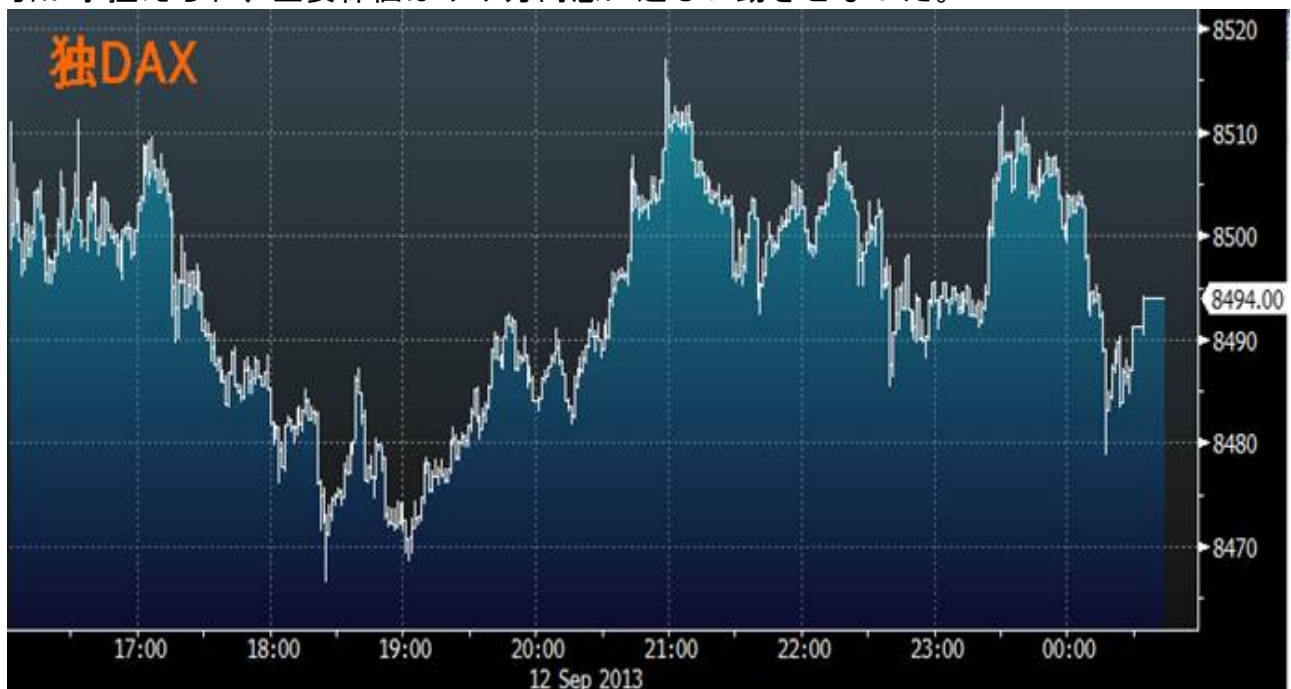
③国・地域別でみると、カナダと中国が横ばい、日本とEUが-0.1%、メキシコを含む中南米は+0.3%。

欧州主要株	終値	前日比
英 FT100	6588.98	+0.55
仏 CAC40	4106.63	-12.48
独 DAX	8494.00	-1.73
ストック欧州 600 指数	310.74	-0.14
ユーロファースト 300 指数	1246.74	-0.87
スペイン IEX35 指数	8924.20	+49.00
イタリア FTSE MIB 指数	17522.71	-39.84
南ア アフリカ全株指数	43752.30	+332.98

(出所:ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、FOMCを来週に控え、米量的緩和の縮小に対する警戒感から積極的な取引が手控えられ、主要株価はやや方向感に乏しい動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 15305.94 (-20.66)、 S&P500 1685.62 (-3.51)、 ナスダック 3720.04 (-4.97)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、米 30 年物国債入札が前日の 10 年債入札に続いて堅調な結果になるとの期待感から、買いが先行した。また、米通信大手のベライゾンの社債発行に伴う債券のヘッジ売りを巻き戻す動きも支援材料となった。しかし、米失業保険申請件数の大幅減少を受けて、売られる場面もあった。

午前の利回りは、30 年債が 3.82% (前日 3.85%)、10 年債が 2.88% (2.91%)、7 年債が 2.30% (2.33%)、5 年債が 1.68% (1.71%)、3 年債が 0.86% (0.88%)、2 年債が 0.43% (0.45%)。

1 : 20

シリア大統領

- ・「化学兵器を引き渡す用意」
- ・「ロシア案受け入れは米国を恐れたからではない」

《ここまでの動き》



(出所: ネットダニア、ブルームバーグ)

- ① 米失業保険申請件数が 30 万件を下回り、2006 年 4 月 1 日までの週以来、約 7 年 5 ヶ月ぶりの低い水準となったことを受けてドル買いに反応。
- ② しかし、米労働省が、システムトラブルで申請が処理されなかった州が 2 州あったことを明らかにし、データは米国の労働状況の変化を示唆せずとしたことから、一転して軟調な動きとなった。
- ③ 小動きの展開が続いていた米株価が下げ幅を拡大したことから、ドル円・クロス円も軟調な動きとなった。
- ④ 株価が反転したことや、シリア大統領が「化学兵器を引き渡す用意がある」と表明したことを受けて買い戻しも入った。

《欧州のポイント》

①イタリアが実施した入札で、3年物国債の平均落札利回りは2012年10月以来の高水準となった。40億ユーロ（約5290億円）相当発行された2016年11月償還債の利回りは2.72%（前回2.33%）だった。イタリア当局は、2028年償還債や変動利付債も発行した。

②ギリシャ国家統計局が発表した6月の失業率は、27.9%と5月の27.6%から上昇した。失業率は、統計局が月間の統計を発表し始めた2004年以降で最高となった。15-24歳の失業率は58.8%、女性全体の失業率は31.9%となった。ユーロ圏とIMFによる総額2400億ユーロ（約32兆円）の救済に関連した歳出削減や増税を背景に、ギリシャのリセッションは長期化している。4-6月期のGDPは年率-3.8%と、過去3年で最も低い減少率にとどまっている。

③フランスで開かれた欧州議会の本会議は、EUが目指す銀行同盟の第1の柱である銀行監督の一元化を実施する法案を賛成多数で可決した。2014年秋以降、ECBが各国の監督当局に代わり、域内の銀行の監督を行う。当初はユーロ圏の主要約130行が対象となるが、ユーロ圏に入っていないEU加盟国も参加できる。

欧州議会は、各国からECBへ監督権限を移管する以上、ECBは欧州議会への説明責任を強化する必要があると主張。ECBは、監督結果に関する理事会の議論内容の要旨を議会側に提供することで折り合った。

欧州委員会は銀行同盟の次のステップとして救済・破綻処理の一元化の具体案を7月に提示した。今後、閣僚理事会や欧州議会で議論される。

2:00

《米財務省 30年債入札》

最高落札利回り・・・3.820%（前回 3.652%）

最低応札利回り・・・3.720%（前回 3.550%）

最高利回り落札比率・・・58.87%（前回 85.26%）

応札倍率・・・2.40倍（前回 2.11倍）

2:05

シリアは、化学兵器禁止条約の加盟申請書類を提出～国連

《 欧州債券市場 》

欧州債市場は、イタリア債の入札で3年物の借り入れコストが昨年10月以来の高さに達したことを受けて、スペイン10年債に対するイタリア債の上乗せ利回りが拡大した。

イタリア10年債利回りは、ほぼ変わらずの4.53%、スペイン10年債利回りは2bp低下の4.46%、スペイン債利回りがイタリア債を下回ったのは3営業日連続。その利回り格差は2bp拡大の6bp。一時2012年3月2日以来で最大の7bpに達する場面もあった。また、ドイツ10年債利回りは5bp低下の2.00%、フィンランド10年債利回りは4bp低下の2.23%、オランダ債利回りも4bp低下の2.37%となった。

3 : 00

《 経済指標の結果 》

・ 8 月米財政収支 -1479 億 USD (予想 -1460 億 USD ・ 前回 -976 億 USD)



(出所:ブルームバーグ)

3 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 33.20 ドル安の 1 オンス=1330.60 ドルで取引を終了した。

4 : 30

NY 原油は、中心限月が前日比 1.04 ドル高の 1 バレル=108.60 ドルで取引を終了した。

要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1330.60	-33.20
NY 原油	108.60	+1.04

(出所:ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

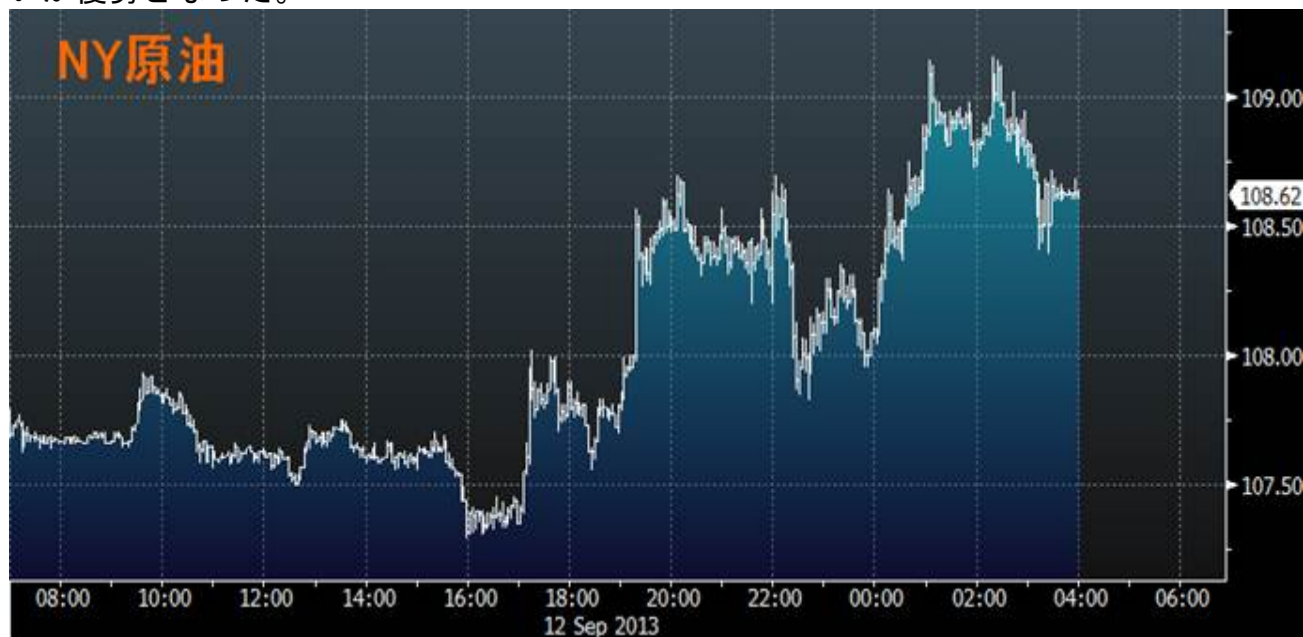
NY金は、米週間失業保険申請件数が約7年5ヵ月ぶりの低水準となり、FOMCで量的緩和の縮小が決まるとの観測が強まったことから売りが優勢となった。また、シリア情勢への懸念が和らぎ投資家のリスク回避志向が後退したことも圧迫材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、シリアの化学兵器の国際管理に向けた動きが進展するかどうか懐疑的な見方が広がり、米国による対シリア攻撃で原油需給が引き締まるとの警戒感も根強く、買いが優勢となった。



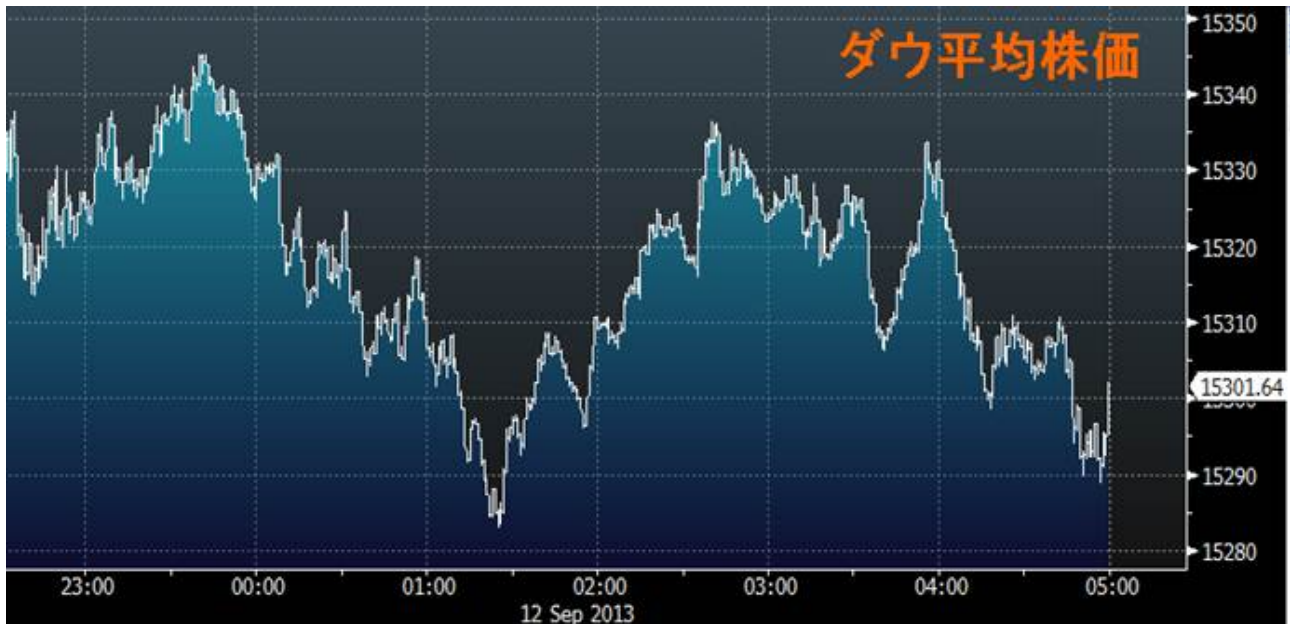
(出所:ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15300.64	-25.96	15345.32	15283.26
S&P500 種	1683.42	-5.71	1689.97	1681.96
ナスダック	3715.97	-9.04	3731.84	3713.08

(出所:ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、米失業保険申請件数が市場予想より少なかったことなどを背景に、来週の米FOMCを控え量的緩和の早期縮小を警戒する売りが出る一方、米景気回復への期待感による買いが出るなど、主要株価は序盤から売り買いが交錯するもみ合いの展開が続いた。ただ、終盤にはシリア情勢の懸念が和らいだことから、値を戻す動きも見られたが上値の重い展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤からもみ合いの展開となったが、一時前日比で43ドル安まで下げたものの、値動きは限定的となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	99.43	99.72	99.02
EUR/JPY	132.24	132.29	131.72
GBP/JPY	157.18	157.42	156.71
AUD/JPY	92.19	92.23	91.73
NZD/JPY	80.99	81.02	80.67
EUR/USD	1.3301	1.3325	1.3255
AUD/USD	0.9273	0.9280	0.9227

(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米雇用関連の経済指標が予想より改善したことから、一時ドル円・クロス円は上昇する場面もあったが、内容に不備があったことなどから反落する動きとなった。また、ユーロ圏の経済指標が予想を下回ったことも材料視され、景気回復に対する懸念などから上値の重い展開が続いた。しかし、午後には、シリア大統領が化学兵器を引き渡す用意があると表明したことなどから、投資家のリスク回避の動きが後退しドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。